旧第十中学校跡地 野外スポーツ施設の基本方針について (案)

主な上位計画		
計画	内容(一部抜粋)	
豊島区基本構想	● 生涯にわたって学び、スポーツに親しむことができる環境づくり	
豊島区基本計画	● スポーツ・レクリエーション活動の推進(子どものスポーツ活動の推進、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動への支援、高齢者のスポーツ活動の推進、スポーツ指導者の育成、区立スポーツ施設の充実)	
豊島区スポーツ推進計画	●「『スポーツで人と地域がいきいきと輝くまち』〜誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、そこから生まれる喜びや感動を共有し、心身ともに健康な生活を営むことが出来るスポーツ都市の実現」(基本理念)	

豊島区スポーツ推進計画における施策の柱

施策	施策の柱
施策1 誰もが取り組めるスポーツの推進	1) 子どものスポーツ活動の推進
	2) 成人のスポーツ活動の推進
	3) 高齢者のスポーツ活動の推進
	4) 障害者のスポーツ活動への参加促進、普及啓発
施策2 スポーツを 推進するための人	1) スポーツ活動を支える人材の育成・発掘・活用
材と組織の充実	2) スポーツ活動を行う団体等の育成・支援・充実
施策3 スポーツを	1) 区立スポーツ施設の充実
するための環境の充実	2) 身近な場所の確保・活用
	3) スポーツに関する情報やニーズの把握・活用
	4) 観るスポーツの推進
施策4 国際交流・観光・都市づくり政策等との連動	1) 東京オリンピック・パラリンピックへの助走とオリンピック・レガシーの創造
	2) 豊島区国際アート・カルチャー都市構想との連動

現状と課題

豊島区の現状と課題

- 総人口約28.7万人 全国有数の高密都市
- 総人口の約20%は、65歳以上の高齢者
- 単独世帯が非常に多いがファミリー世帯も増加 の傾向

旧第十中学校跡地の現状と課題

- 不整形な敷地形状
- 区内では最大規模の区有地ではあるが、周辺区 のスポーツ施設と比較すると限られたスペース
- 練馬区、板橋区との区境に立地
- 都市計画法上の第1種低層住居専用地域であ り、大規模な建物は整備できない
- 敷地周辺は閑静な住宅街
- から一般車両は進入できない
- スポーツ活動や地域活動の場として暫定活用中

豊島区におけるスポーツの現状と課題

【スポーツに関する意識調査(平成23年度)】

- 8割強の人が運動不足を「感じる」と回答
- 運動・スポーツを行っていない理由として、半数の人が 「忙しくて時間がとれない」と回答し、約2割の人が「場 所や施設がないと回答
- スポーツ施設に対する要望として、約4割の人が「施設 数、設備の増加」と回答。その他、「利用料金の検討」 「短時間でも利用できるきめ細やかな料金設定」「開 業時間の延長」「設備の最新化」「スポーツ教室の充 実」と回答した人が2割を超える

【想定利用団体に対するアンケート(平成29年度)】

- 施設数の不足を指摘する意見が多く、複数の団体が他 区の施設や都の施設を利用
- 敷地西側は私道(旧学校用地)で、舗装仕様 施設が整備された場合、競技団体、スポーツクラブ、近 隣の中学・高校、大学まで積極的な利用意向あり
 - 経済性に配慮した施設整備・運営を求める意見が多い

野外スポーツ施設の基本方針(案)

1 多目的なスポーツ利用に対応する施設

- 様々な野外スポーツ競技や野外イベントなどが実施可能な多目的施設として整備・ 運営します。
- 限られた敷地面積や不整形な敷地形状などを踏まえ、各種競技施設等の規模を できるだけコンパクトに抑えるとともに、施設の一部共用化や簡易型設備の活用など を図ることで、多目的利用を効果的に実現します。

2 多様な主体が利用可能な施設

- 子どもから高齢者まで幅広い年齢層が、日常生活の中でいつでも、安全にスポーツ に親しむことができる施設として整備・運営します。
- バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、障害者も利用しやすい施設として整備 します。
- 区民利用を中心としながらも、区境という立地を踏まえ、他自治体居住者や区内 在勤者なども利用できる施設として運営します。

3 周辺環境・地域と調和し、くらしを支える施設

- 大規模な建物は整備せず、敷地周辺の住環境に配慮した施設として運営します。
- 高密都市の貴重なオープンスペースとして、地域の交流や賑わいの創出に貢献でき るよう整備・運営します。
- 学校跡地としての経緯や役割などを踏まえ、防災機能を取り入れて、大規模災害 などの非常時に有効活用できるよう整備・運営します。

4 経済性に配慮し、環境やニーズの変化に柔軟に対応できる施設

- 民間活力等の導入も検討しながら効率的・効果的な施設整備・運営を目指すこと で、区の財政負担を可能な限り軽減します。
- 将来の環境変化を踏まえ、その時代の区民ニーズに即した柔軟な運営ができる施 設として整備します。